

「留学生2,000人のアルバイト実態調査」

vol.3 アルバイト探しの重視項目、はじめた理由、将来の希望

- アルバイトを探す際の重視項目は「給与」36.9%がもっとも多く、次いで「勤務地」29.2%、「勤務時間帯」28.8%が上位にあげられた。勤務条件以外では、「外国人の雇用に慣れていること」25.5%や「外国人スタッフの有無」21.0%といった外国人の受け入れ環境に関して重視していることがわかる。もっとも重視する項目をみると、地域により差がみられ、甲信越・北陸、中国・四国、九州・沖縄では「給与」よりも「勤務地」が重視される。(P6-7)
- アルバイトをしてよかったことは「生活費を補える」52.3%がもっとも多かった。次にあげられたのは「日本語が上達した」40.4%で、留学生にとってはアルバイトも学習機会のひとつになることがわかる。「卒業後、日本で働く準備ができた(正社員登用など)」は女性30歳以上で1割を超えている。(P10)
- 将来希望する進路について、もっとも希望するものを聞くと、いずれかの形態で日本で働くことを希望するのは、留学生2,000人のうち917人で45.9%。「現在のアルバイト等の職場で正社員として就職希望」は12.5%であった。(P12)

調查概要

調査名	留学生2,000人のアルバイト実態調査
調査目的	日本に留学している学生における、アルバイトの実態及び意識を明らかにする
調査手法	インターネット調査(クロス・マーケティング社モニター利用) 回答言語は日本語719人(36.0%)、英語1,281人(64.1%)
調査期間	2019年3月26日(火)~2019年4月16日(火)
対象者条件	日本国内の教育機関へ通う、外国人留学生 ※日本の大学(大学院を含む)、短期大学、専修学校(専門課程)、準備教育課程及 び日本語教育機関に在籍する外国人留学生
有効回答数	2,000人

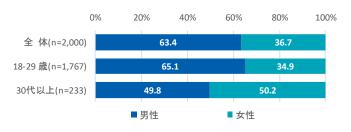
お問い合わせ先

http://jbrc.recruitjobs.co.jp/jbrc/about.html

回答者プロフィール(n=2,000)

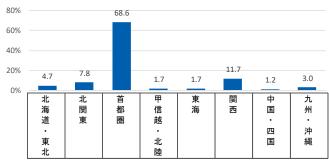
■性年代

全体では男性63.4%、女性36.7%で半数以上が 男性。



■居住地域

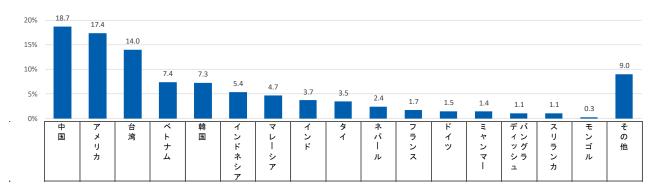
首都圏が68.6%でもっとも多く、次いで関西 11.7%、北関東7.8%となっている。



■出身国・地域

出身国・地域は中国18.7%、アメリカ17.4%、台湾14.0%で全体の5割を占める。日本における留学生全体*よりもアメリカなどの英語圏の割合が多い。

*独立行政法人日本学生支援機構「平成30年度外国人留学生在籍状況調査結果」では、中国38.4%、アメリカ1.0%。以降のプロフィール内容も同参照。https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2018/index.html

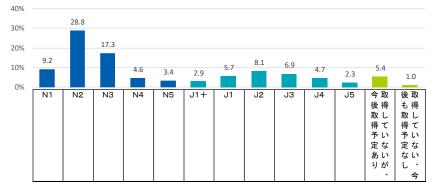


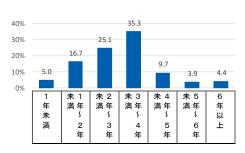
■日本語能力資格(あてはまるものをひとつ回答)

日本語能力検定 *1 (以下N5 $^{\sim}$ N1)とBJTビジネス日本語能力テスト *2 (以下J5 $^{\sim}$ J1+)の保有を聞くと、9割以上が資格取得している。もっとも多かったのは「N2」(日常会話+幅広い場面をある程度)。

■滞在年数

3年~4年未満が35.3%でもっとも多い。留学生のため6年以上などの長期滞在は少ない。





*1国際交流基金と日本国際教育支援協会が運営する日本語能力検定(もっとも難しいレベルがN1) https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html

*2公益財団法人日本漢字能力検定協会が運営するBJTビジネス日本語能力テスト、(もっとも難しいレベルがJ1+) https://www.kanken.or.jp/bjt/about/levelquide.html

※調査結果は小数点第二位を四捨五入のため、TOTALが100%にならない場合がある

回答者プロフィール(n=2,000)

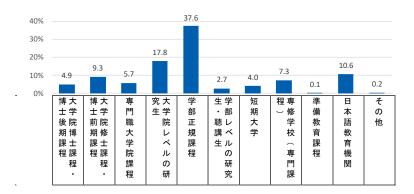
■学校種別・留学タイプ

【私立】私費留学生35.8%がもっとも多 く、次いで【公立】国費留学生19.2%。



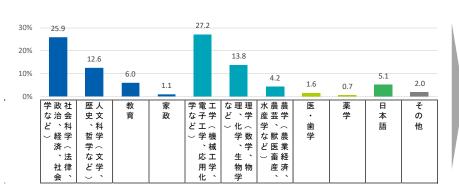
■在籍課程

学部正規課程37.6%がもっとも多く、次いで大学院レベル の研究生17.8%。日本語教育機関(語学学校等)は 10.6%



■専攻分野

日本語(日本語教育機関に留学する学生が選択)、医歯学・薬学を除くと、文系と理系でほぼ同程度の構成となっ た。以降、専攻分野別に調査結果を見る際は右図の区分を使用する。



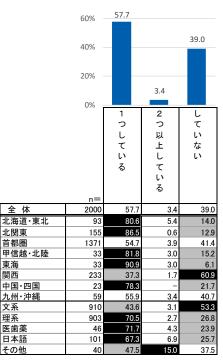


■アルバイト就業状況

調査回答時点におけるアルバイトの就業状況を聞くと、 アルバイトをしているのは全体の6割程度であった。回答 者の地域や専攻分野別にみると、差がみられるが回答 数の少ない地域や専攻分野もあるため、あくまでも本 調査の回答者の状況として捉えることとする。

(参照)独立行政法人日本学生支援機構が実施 する「平成29年度私費外国人留学生生活実態調 査」では全体の7割がアルバイト従事と回答しているが、 回答対象が私費留学生に絞られているため差があると 考えられる。

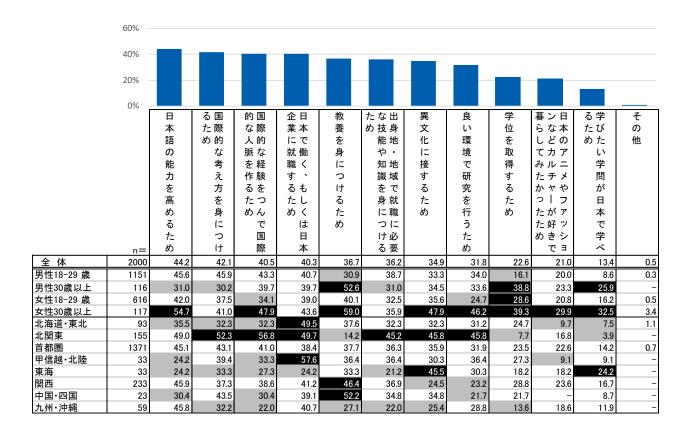
https://www.jasso.go.jp/about/statistics/ry uj chosa/h29.html



3

留学生2,000人の留学目的(複数回答)

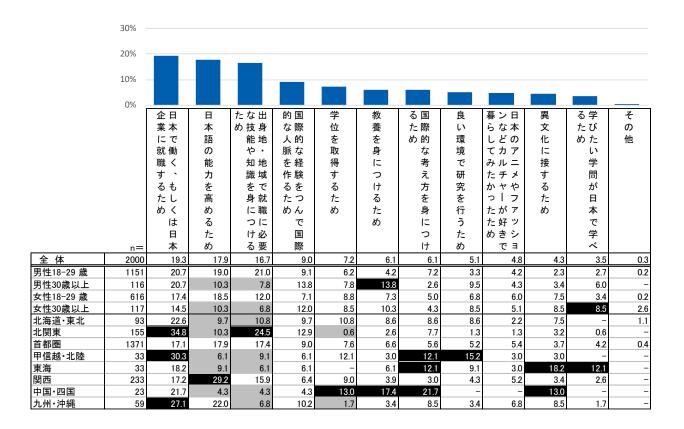
留学の目的を複数回答で聞くと、「日本語の能力を高めるため」44.2%、「国際的な考え方を身につけるため」42.1%、「国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため」40.5%、「日本で働く、もしくは日本企業に就職するため」などが4割を超えて多かった。男女30歳以上は「学びたい学問が日本で学べるため」が2~3割で29歳以下よりも多い。高い専門性を目指して留学しているようだ。日本で働く、就職するという目的は大都市圏の留学生だけではない。



Q: 留学の目的は何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。 (MA)

留学生2,000人の留学目的(もっともあてはまるもの/単一回答)

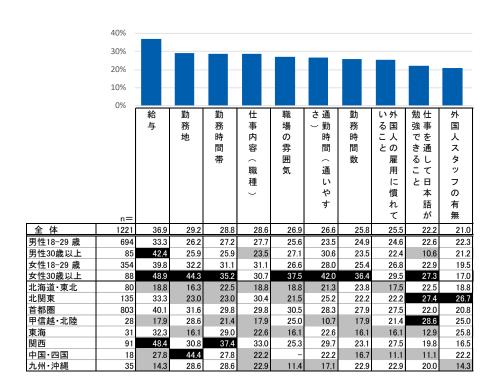
留学の目的でもっともあてはまるものを聞くと、「日本で働く、もしくは日本企業に就職するため」19.3%がもっとも多く、次いで「日本語能力を高めるため」17.9%、「出身地・地域で就職に必要な技能や知識を身につけるため」16.7%であった。社会で働くための機会、語学、技能、知識を得たいといった目的が上位で、日本のアニメやファッションなどカルチャーが好きといった目的はわずかである。

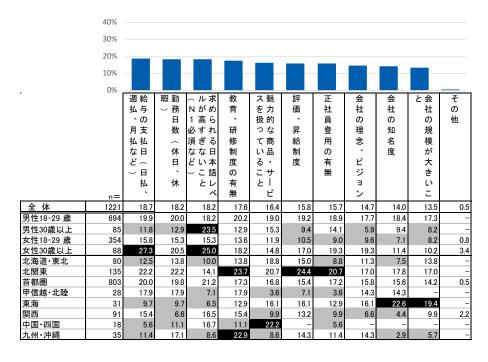


Q: 留学の目的は何ですか。もっともあてはまるものをひとつお答えください。(SA)

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイト探しの重視項目(複数回答)

現在のアルバイトを選ぶ際に重視したことを聞いた。「給与」36.9%がもっとも多く、次いで「勤務地」29.2%、「勤務時間帯」 28.8%と続く。「給与」は男女ともに30歳以上、地域別では首都圏や関西で4割を超え重視されている。場所や時間などの 勤務条件以外では、「外国人の雇用に慣れていること」25.5%や「外国人スタッフの有無」21.0%といった外国人の受け入れ環境に関して重視していることがわかる。

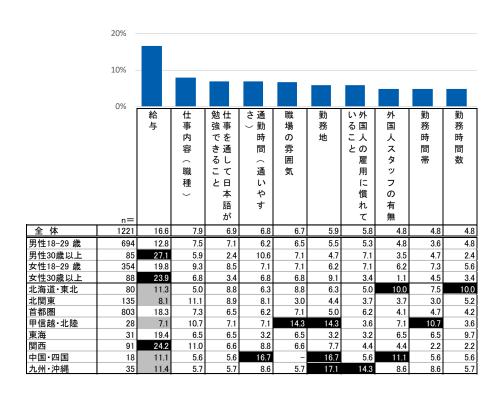




O:現在のアルバイト等を選ぶ際、重視したものすべてお答えください。 (MA)

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイト探しの重視項目(もっとも重視/単一回答)

現在のアルバイトを選ぶ際にもっとも重視したことについてみると、「給与」16.6%がもっとも多かった。ただし、地域でみると傾向が異なり、北関東では「仕事内容(職種)」、甲信越・北陸は「職場の雰囲気」「勤務地」、中国・四国は「通勤時間(通いやすさ)」「勤務地」、九州・沖縄は「勤務地」がもっとも重視されていた。特に地域によっては、通える範囲にアルバイト先を見つけづらいという状況もあるため、給与よりも重視されることはあるだろう。

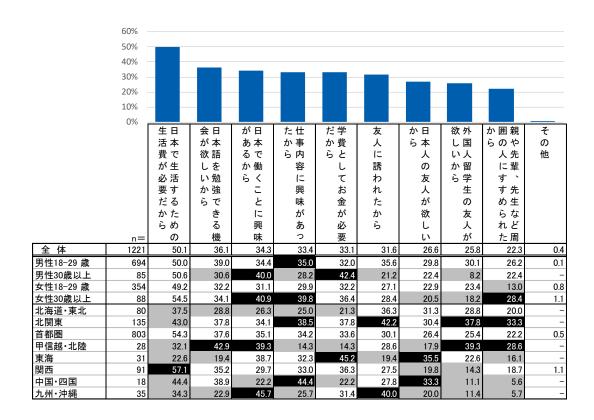


	20% -											
	10% –											
	0% -											
		正	教	週 給	と会	評	〜ル求	暇 勤	会	ス魅	会	そ
		社	育	払 与	社	価	Nがめ	〜 務	社	を力	社	の
		員	`	`の	の	`	1高ら	日	の	扱 的	の	他
		登	研	月支	規	昇	必すれ	数	理	っな	知	
		用	修	払払	模	給	須ぎる	<u> </u>	念	て商	名	
		の	制	な日	が	制	なな日	休	`	い品	度	
		有	度	ど〜	大	度	どい本	日	ビ	る・		
		無	の	~ 日	き		〜 こ語		ジ	こサ		
			有	払	い		とレ	休	3	اع		
	n=		無	`	٦		ベ		ン	ビ		
全 体	1221	3.8	3.5	3.5	3.4	2.9		2.5	2.4	2.3	1.5	0.3
男性18-29 歳	694	5.5	3.7	4.2	4.5	3.9	3.3	3.7	3.2	2.7	1.3	-
男性30歳以上	85	2.4	5.9	2.4	2.4	1.2	4.7	1.2	_	2.4	2.4	
女性18-29 歳	354	1.1	2.8	1.7	1.4	2.0	1.7	0.6	1.1	1.4	1.7	0.3
女性30歳以上	88	3.4	2.3	6.8	3.4	1.1	2.3	1.1	3.4	2.3	1.1	3.4
北海道·東北	80	1.3	1.3	6.3	1.3	3.8	2.5	3.8	1.3	-	-	-
北関東	135	3.7	6.7	3.7	3.0	5.9	3.0	5.9	3.7	3.0	2.2	-
首都圏	803	4.7	3.6	3.6	3.6	2.4	2.7	2.2	2.9	2.5	1.7	0.2
甲信越·北陸	28	3.6	_	7.1	-	_	3.6	_	_	_	-	_
東海	31	3.2	_	3.2	9.7	3.2	_	_	_	6.5	3.2	
関西	91	1.1	3.3	1.1	4.4	4.4	4.4	_	_	1.1	_	2.2
中国・四国	18	_	_	_	_		5.6	5.6	_	5.6	_	
九州·沖縄	35	-	2.9	-	_	2.9	2.9	_	-	_	-	_

Q:現在のアルバイト等を選ぶ際、もっとも重視したものひとつお答えください。(SA)

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトをはじめた理由(複数回答)

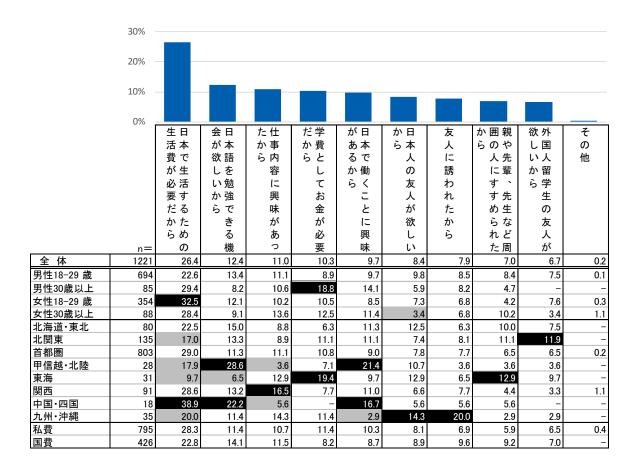
現在のアルバイトをはじめた理由を複数回答で聞いた。もっとも多かったのは、「日本で生活するための生活費が必要だから」 50.1%といった経済的理由。続いて、「日本語を勉強できる機会が欲しいから」36.1%、「日本で働くことに興味があるから」 34.3%で、留学目的(P4-5)を踏まえ、学校以外にも機会を求めていることがわかる。



Q:現在のアルバイト等をはじめた理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(MA)

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトをはじめた理由(もっともはてはまる/単一回答)

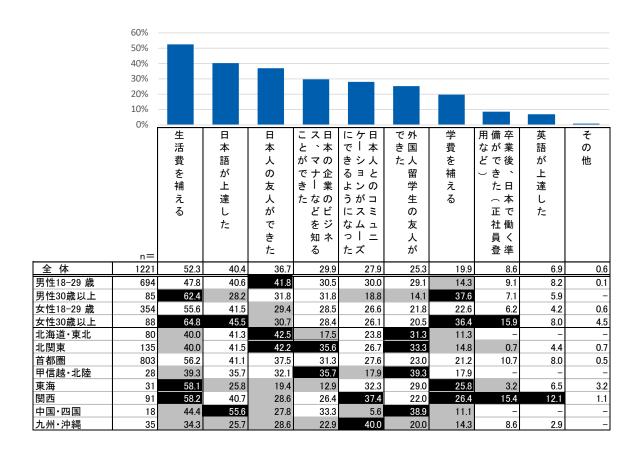
現在のアルバイトをはじめた理由でもっともあてはまるものを聞くと、「日本で生活するための生活費が必要だから」26.4%がもっとも多かった。 学費とあわせると、アルバイトをする留学生の3割強が経済的なことをきっかけにアルバイトをはじめている。 特に経済的な理由がもっとも大きいわけではない留学生に対しては、アルバイトを通してどのような経験ができるかをわかりやすく伝えられるといいだろう。



Q:現在のアルバイト等をはじめた理由は何ですか。もっともあてはまるものをすべて選んでください。(SA)

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトしてよかったこと

現在のアルバイトをしてよかったことを複数回答で聞いた。もっとも多かったのは「生活費を補える」52.3%で、はじめた理由と一致した。次にあげられたのは「日本語が上達した」40.4%であった。接客有無などを含めた業務内容や日本人従業員との連携が多いといった職場環境により差はあるだろうが、留学生にとってはアルバイトも学習機会のひとつになることがわかる。「卒業後、日本で働く準備ができた(正社員登用など)」は女性30歳以上で1割を超えている。

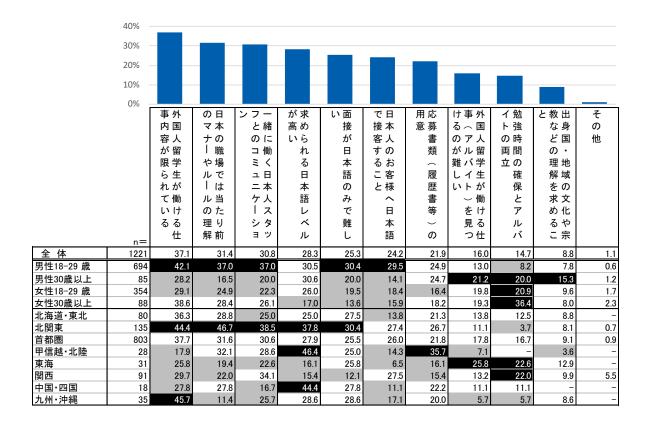


Q:現在のアルバイト等をはじめてよかったことは何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA)

アルバイトをする留学生1,221人 アルバイトで苦労すること

アルバイトで苦労することを複数回答で聞くと、「外国人留学生が働ける仕事内容が限られている」37.1%がもっとも多く*、「日本の職場では当たり前のマナーやルールの理解」31.4%、「一緒に働く日本人スタッフとのコミュニケーション」30.8%が続いた。日本語の知識、スキル以上にマナーやルールの理解に苦労しており、留学生を受け入れる職場ではマニュアルや研修などを通したサポートが求められるであろう。

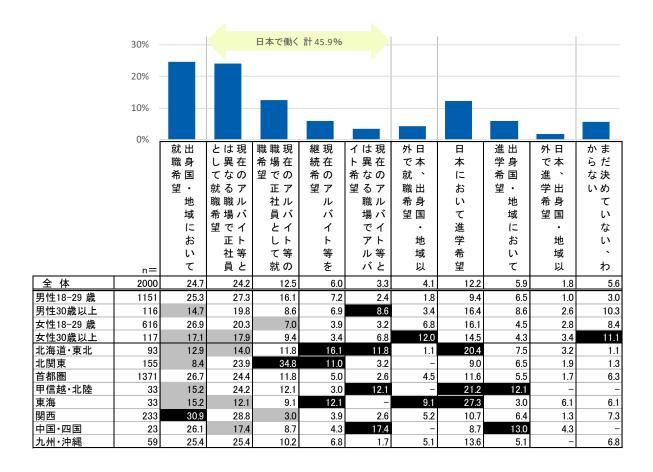
*求人募集においては公正な採用選考をするため、国籍に関する表現はなく、留学生が応募してよいか迷うことが考えられるだろう。求人メディアによっては募集内容に応じて「留学生歓迎」といった表記を掲載するものも一部みられる。また、スナックや麻雀店、パチンコ店などの風俗営業又は風俗関係営業が含まれている営業所の募集は制限されていることも留意。(参考:東京労働局 外国人雇用に関する Q&A https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/riyousha_mokuteki_menu/jigyounushi/13-01-19-4 test.html)



Q: 現在のアルバイト等をするにあたり、苦労することは何ですか。あてはまるものをすべてお答えください。(MA)

アルバイトをする留学生1,221人 将来の希望

将来の希望について聞くと、「出身国・地域において就職希望」24.7%、「現在のアルバイト等とは異なる職場で正社員として就職希望」24.2%がほぼ同程度であった。「現在のアルバイト等の職場で正社員として就職希望」12.5%も含め、アルバイトをする留学生の45.9%(n=917)が日本で働くことを希望している。留学生の正社員登用は雇用ルール(在留資格など)が変わるため、本人の希望や志向、職場の評価のみならず、雇用手続きの確認も必須ではあるが、優秀な人材の確保手段のひとつになりえるだろう。



Q:次のうち、将来についてもっとも希望するものひとつだけお答えください。(SA)